

様式3 指定管理業務 事業評価書（市及び指定管理者作成）

令和5年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市障害者自立支援施設
施設所管課	健康福祉部 社会福祉課（内線709）
指定管理者名	社会福祉法人幸手市社会福祉協議会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（3年目）

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1) 職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2) 職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
	(3) 利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	-	-
	2 施設利用に関する業務			
	(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	3	3
	(2) 利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	-	-
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
	(2) 清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
	(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1) 指定事業	基準に基づく指定事業が適切に行われたか	3	3
	(2) 自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	3	3
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2	3	3
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
(1) 記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3	
(2) 経理	経理処理が適切に行われたか	3	3	
(3) 意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3	

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
II サービスの 質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	-	-
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	3	3
	3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	3	3
	4 指定事業・自主事業			
	(1) 指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3
	(2) 自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ 評価 安定 性の ス	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		I・II・Ⅲの評価点数の合計(得点/満点)	66 88	66 88

総 括	指定管理者の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の利用者の特性に配慮した個別支援計画を作成し、適正な支援ができた。</li> <li>・就労継続支援B型の基本となる作業については、利用者の特性に応じた作業種を提供できた。また、施設外就労(公衆トイレ清掃)は2号、3号公園のトイレ清掃を受注することができ、利用者の就労機会の提供、工賃向上につながった。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症については、2類から5類へ移行したが、利用者、職員は、検温やマスクの着用や手指消毒等を徹底し、感染防止に努めた。利用者が発熱、感染症に罹患した場合は、ご家庭との連絡を行い健康状態の把握に努めた。</li> <li>・施設内の樹木の剪定や消毒、軽微な修繕は職員で行い、経費の削減に努めた。</li> <li>・さくらの里の宿泊研修は、群馬県方面で実施した。保護者の要望もあり、満足度の向上にもつながった。工場見学は、群馬県高崎市の工場と深谷市の渋沢栄一記念館を見学した。工場見学は、通常の利用時間内で実施し、通常通り送迎バスを運行するなど保護者の負担軽減を考慮した。利用者にとっては、就労への意欲向上につながった。所内においては、夏祭りや節分会など季節感を感じられる行事を実施した。</li> <li>・なのはなの里の所外活動では、利用者の特性を考慮し2グループに分れミュージアムパーク茨城県自然博物館を見学した。さくら、あじさい、曼珠沙華、水仙等、権現堂を中心にドライブで見学に出かけ四季を感じる活動を実施した。毎月音楽会を企画実施した。</li> </ul>
	施設所管課の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の充実により職員の資質向上に努め、利用者の障がい特性やニーズに応じた支援の提供を図ることができた。</li> <li>・さくらの里では、就労継続支援B型の基本となる施設内での作業について、利用者の特性に合った作業種の提供が図れた。また、前年度から引き続き施設外就労も行い、就労機会の提供を図り利用者の工賃向上に努めた。</li> <li>・宿泊研修や所外活動を積極的に行い、四季を折り込んだイベントを実施するなど、利用者の外出機会の確保に努めた。</li> </ul>

総合評価	区 分	A
	特記事項	

《評価区分》

評価点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
	2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
	1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
総合評価	S	極めて良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上であり、かつ4が2つ以上である)
	A	良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上である)(上記以外)
	B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。(評価点数に2が含まれている)
	C	改善を要する管理運営状況である。(評価点数に1が含まれている)

様式3 指定管理業務 事業評価書（市及び指定管理者作成）

令和5年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市営釣場 神扇池
施設所管課	建設経済部 商工観光課（内線592）
指定管理者名	サンワックス・都市管理サービス共同事業体（報告：代表企業 ㈱サンワックス）
指定期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日（5年目）

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	3	3
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	2	2
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定事業	基準に基づく指定事業が適切に行われたか	3	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	3	3
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2		
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
(2)経理	経理処理が適切に行われたか	3	3	
(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3	

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価	
II サービスの質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	3	3	
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	3	3	
	3 運營業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	3	3	
	4 指定事業・自主事業				
	(1) 指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3	
	(2) 自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3	

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
III 安定性の評価	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	2	2
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		I・II・IIIの評価点数の合計(得点/満点)	70 96	70 96

総括	指定管理者の自己評価	R5年度は感染以前の来場者数を目標に、適正な施設運営のための職員配置、老朽化に伴う備品等の修繕、放流するへら鮎の確保等お客様の満足度向上に努めましたが、へら鮎釣愛好家の高齢化、レジャーの多様化、団体利用の減少により来場者数の減少傾向に歯止めがかからず、事業収入は大きく減少。一方で人件費単価の上昇や物価の高騰に伴い事業支出は増大し、適正な収支を確保することができませんでした。
	施設所管課の評価	令和5年5月8日に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類となり、規制緩和の中で市営釣場の入場者数についても、少しでも上向きになることが期待されましたが、コロナ禍以前から続いている釣り人口の減少の中、集客面については、非常に厳しい状況にあるといえます。さらに、物価高や人件費の高騰の中で、支出の増大が重なり経営面でも非常に厳しい数値となりました。そのような中でも、積極的に自主事業を展開し、ホームページやSNS等を活用して、情報発信をするなど、入場者数の向上を図る姿勢が見られました。また、これまでの管理・運営のノウハウにより、利用者のニーズに柔軟に対応し、笑顔あふれるレクリエーション施設となるように取り組んできた姿勢は評価できます。

総合評価	区分	B
	特記事項	

《評価区分》

評価点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
	2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
	1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
総合評価	S	極めて良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上であり、かつ4が2つ以上である)
	A	良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上である)(上記以外)
	B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。(評価点数に2が含まれている)
	C	改善を要する管理運営状況である。(評価点数に1が含まれている)

様式3 指定管理業務 事業評価書（市及び指定管理者作成）

令和5年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市立図書館
施設所管課	教育委員会 社会教育課（内線 0480-43-1111）
指定管理者名	TRC(株)図書館流通センター
指定期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日（4年目）

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	3	3
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	3	3
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	-	-
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定事業	基準に基づく指定事業が適切に行われたか	3	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	3	3
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2	3	3
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
(2)経理	経理処理が適切に行われたか	3	3	
(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3	

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅱ サービスの質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	3	3
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	3	3
	3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	4	3
	4 指定事業・自主事業			
	(1) 指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3
	(2) 自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	4	4

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ 安定性の評価	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		I・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計(得点/満点)	74 96	73 96

総括	指定管理者の自己評価	<p>市民アンケートを採るとスタッフ対応について、満足・やや満足で本館96%、香日向分館においては、98%の利用者の皆さんの高評価を得ることができました。ここ何年も90%台の満足・やや満足を頂いておりスタッフのモチベーション維持にも結びついております。また、多種多様なイベントに取り組んでいます。「TRCだからこそ」という意気込みで、スタッフが主体となり取り組んでいる。さらに、一般、児童、相互貸借の区別なく何でもできるスキルを目指すことを目標として、日常はもとより、年1回のスキルアップ講習に取り組んでいる。</p> <p>昨今の物価上昇に伴い、職員全員で消耗品や光熱水費の節約に取り組み、一定の成果がでていると考えています。</p> <p>条例、規則、契約に基づいて、国民の祝日は、休みを取らずに週休2日のみでシフト制での取り組みをし、幸手市の文化向上のために高い意識と誇りを持ち、常に現場での最先端を意識し、幸手市の顔となるよう、取り組んでいます。</p>
	施設所管課の評価	<p>協定書に基づく図書館業務については、適切に実施しており、自主事業においても図書館まつり等のイベントを実施し利用促進を図っていたことは評価できる。</p> <p>また、利用者アンケート集計結果の総合評価における満足及びおおむね満足の割合は高く、今後も研修等を通じて職員のレベルアップに努め、社会教育施設として市民サービスの向上や、安全で快適な読書空間の維持に努めるよう期待している。</p>

総合評価	区分	A
	特記事項	

《評価区分》

評価点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
	2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
	1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
総合評価	S	極めて良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上であり、かつ4が2つ以上である)
	A	良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上である)(上記以外)
	B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。(評価点数に2が含まれている)
	C	改善を要する管理運営状況である。(評価点数に1が含まれている)

様式3 指定管理業務 事業評価書（市及び指定管理者作成）

令和5年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市民文化体育館(アスカル幸手)
施設所管課	教育部 教育委員会 社会教育課 内線645・646
指定管理者名	NEM/NTTファシリティーズ共同事業体
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年目）

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	4	3
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	3	3
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定事業	基準に基づく指定事業が適切に行われたか	3	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	4	3
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2	3	3
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
(2)経理	経理処理が適切に行われたか	3	3	
(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3	

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
II サービスの 質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	3	3
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか	3	3
		備品などの設備の維持管理は適正であるか		
	3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか	3	3
		利用許可など利用者への接客対応は適切であるか		
	4 指定事業・自主事業			
(1)指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	4	3	
(2)自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	4	4	

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
評のⅢ 価安 サ 定 性 ビ の ス	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		I・II・IIIの評価点数の合計(得点/満点)	79 / 100	76 / 100

総 括	指定管理者の自己評価	<p>○本年度5月より新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことを受け、コロナ禍前の運営状態に戻しながらも適切な管理運営を行った。</p> <p>○事業評価4を付けた項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・I 1(3)利用の促進・・・HPやfacebook、公式LINEを活用し積極的に情報発信を行ったほか、トレーニング室の回復に向けて、暗闇ズンバや特別プログラムを企画し実施し、利用人数は26,011人増加したため。</li> <li>・I 4(2)及びII(2)自主事業については、自己評価4とした。理由として、劇団四季の招聘や柵橋弘至選手によるアウトリーチ事業など質の高い事業を開催し、劇団四季はチケットが完売し、開催後も好評をいただけたため。</li> <li>・II(1)指定事業については、引続きNPO法人幸手市芸術文化振興協会様と協力することで、第九コンサートを開催することができたため。</li> </ul> <p>○事業評価3を付けた理由</p> <p>II 1利用者満足度については、前年度の4から3へと変更した。理由として、引続き高い満足度をいただいているものの前年度より満足度が下がっていることと、お客様からの要望・意見収集について減少しているため。</p>
	施設所管課の評価	<p>協定の基準を遵守し、良好な管理運営を行っている。</p> <p>施設の管理面については、適宜必要な修繕を実施していたほか、本年度もトイレ洋式化に取り組むなど利用者の利便性向上への取り組みがみられた。また、昨年度に引き続き暗闇ズンバや運動プログラムの企画・運営によりトレーニング室の利用者が増加するなどの成果が出ている。しかしながら、全体の利用件数はコロナ禍以前の7割程度にとどまっており、引き続き利用者数の回復に向けた取り組みが求められる。</p> <p>運営面においては、自主事業として、新日本プロレス所属のプロレスラー柵橋弘至選手によるアウトリーチ事業や、劇団四季の公演の招聘など、魅力のある質の高い事業を実施し、住民の福祉の増進に寄与したことを評価したい。</p>

総合評価	区 分	A
	特記事項	

《評価区分》

評価点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
	2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
	1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
総合評価	S	極めて良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上であり、かつ4が2つ以上である)
	A	良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上である)(上記以外)
	B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。(評価点数に2が含まれている)
	C	改善を要する管理運営状況である。(評価点数に1が含まれている)

様式3 指定管理業務 事業評価書（市及び指定管理者作成）

令和5年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市立武道館
施設所管課	教育委員会 社会教育課 内線645・646
指定管理者名	NEM/NTTファシリティーズ共同事業体
指定期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日（5年目）

	評価項目	評価基準	自己	所管課
			評価	評価
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	3	3
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	3	3
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定事業	基準に基づく指定事業が適切に行われたか	3	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	3	3
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2	3	3
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
(2)経理	経理処理が適切に行われたか	3	3	
(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3	

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価	
II サービスの質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	3	3	
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	3	3	
	3 運營業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	3	3	
	4 指定事業・自主事業				
	(1) 指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3	
	(2) 自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3	

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
III 安定性の評価	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		I・II・IIIの評価点数の合計(得点/満点)	75 / 100	75 / 100

総括	指定管理者の自己評価	<p>○本年度5月より新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことを受け、コロナ禍前の運営状態に戻しながらも適切な管理運営を行った。</p> <p>○各評価項目については、協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容であったと考え自己評価をすべて3とした。前年度自己評価4を付けていたI履行の確認(2)自主事業については、計画内の水準であるため、3とした。</p>
	施設所管課の評価	<p>協定の基準を遵守し、良好な管理運営を行っている。</p> <p>施設の管理面については、適宜必要な修繕を実施していたほか、照明のLED化を行うなど、管理面において利用者の利便性向上への取り組みがみられた。</p> <p>また、運営面では、自主事業として、武道団体連絡協議会との連携により武道体験教室等を計画内の水準で実施した。</p>

総合評価	区分	A
	特記事項	

《評価区分》

評価点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
	2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
	1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
総合評価	S	極めて良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上であり、かつ4が2つ以上である)
	A	良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上である)(上記以外)
	B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。(評価点数に2が含まれている)
	C	改善を要する管理運営状況である。(評価点数に1が含まれている)

様式3 指定管理業務 事業評価書（市及び指定管理者作成）

令和5年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市コミュニティセンター
施設所管課	市民生活部 暮らし防災課（内線 585）
指定管理者名	NEM/NTTファシリティーズ共同事業体
指定期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日（5年目）

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行 の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	3	3
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	3	3
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定事業	基準に基づく指定事業が適切に行われたか	3	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	3	3
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2	3	3
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
(2)経理	経理処理が適切に行われたか	3	3	
(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3	

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
II サー ビス の 質 の 評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	4	4
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか	3	3
		備品などの設備の維持管理は適正であるか		
	3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか	3	3
		利用許可など利用者への接客対応は適切であるか		
	4 指定事業・自主事業			
(1)指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3	
(2)自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3	

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
評のⅢ 安サ 定ー 性ビ の ス	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		I・II・IIIの評価点数の合計(得点/満点)	76 100	76 100

総 括	指定管理者の自己評価	<p>○本年度5月より新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことを受け、コロナ禍前の運営状態に戻しながらも適切に管理運営を行った。</p> <p>○各評価項目については、I 履行の確認の評価はすべて協定水準に沿った内容であったと考え自己評価3を付けた。前年度指定業務を4としていたが、3とした。理由として、幸手市が設置しているご意見箱である「市民の声」の管理が一部不適切であったためである。(現在は改善済み)</p> <p>II サービスの質の評価については、アンケート結果の妥当性について自己評価4とした。前年に続き、高い満足度をいただけたことと多くの意見や要望を収集でき、運営における成果と課題を認識できるものとなったためである。自主事業面では新たな取組みとして1回完結の省エネ講座を実施したほか、勤労者向けのヨガ教室を2教室夜に開催することで、地域交流や新たな利用者層の拡大にも取り組んだが、新たな取組みの最中であると考え3とした。</p> <p>III サービスの安定性の評価については、すべて自己評価3とした。事業収支については、エネルギー価格の高騰等により計画値よりも増加しており、収支を圧迫する要因となっている。新電力への変更なども検討していく必要があり、支出の見直しにも一層取り組んで行く必要がある。</p>
	施設所管課の評価	<p>新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、感染症対策が緩和されたことに伴い、夜ヨガ教室、省エネ講座といった新たな自主事業を企画するなど積極的に利用拡大を図っていた。また、空調機器、自動ドア等の不具合が多発する中、利用に支障がないよう修繕及び運営方法を工夫しており、利用者アンケートにおいても満足度が高いことから、利用者への細やかな配慮が伺える。今後も利用者が快適に利用できるよう努めていきたい。</p>

総合評価	区 分	A
	特記事項	

《評価区分》

評価点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
	2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
	1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
総合評価	S	極めて良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上であり、かつ4が2つ以上である)
	A	良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上である)(上記以外)
	B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。(評価点数に2が含まれている)
	C	改善を要する管理運営状況である。(評価点数に1が含まれている)

様式3 指定管理業務 事業評価書（市及び指定管理者作成）

令和5年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手総合公園外6公園
施設所管課	建設経済部 都市計画課 教育委員会 社会教育課
指定管理者名	幸手ハピネスクリエーション共同事業体 代表団体 シンコーススポーツ株式会社
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年目）

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	4	3
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	3	3
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	4	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定事業	基準に基づく指定事業が適切に行われたか	3	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	4	3
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2	3	3
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
(2)経理	経理処理が適切に行われたか	3	3	
(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3	

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
II サービスの 質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	3	3
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか	3	3
		備品などの設備の維持管理は適正であるか		
	3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか	3	3
		利用許可など利用者への接客対応は適切であるか		
	4 指定事業・自主事業			
(1)指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3	
(2)自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	4	4	

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
評価の 安定性 の スコア	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		I・II・IIIの評価点数の合計(得点/満点)	79 / 100	76 / 100

総括	指定管理者の自己評価	<p>今年度は、昨年度のwithコロナから1年が経ち、昨年度を上回る自主事業を開催することが出来ました。特にイベントでは昨年同様に教育委員会の後援を頂き幸手市内の小学校や幼稚園にチラシを配布しました。幸手BG塾やBGで遊ぼうやキッズ教室など幸手市内の子供達に学習や体験して頂けたことがとても良かったです。それ以外にもカブトムシ探検隊やシンコー杯サッカー大会、夏祭り、ハロウィンイベント、謎解きゲームなど子供たちがメインとなる自主事業を展開する事が出来ました。ほかにも幸手市の協力もあり、幸手市民祭りイベント、ガチャガチャの販売など幸手市をPRする事が出来ました。</p> <p>施設運営として、利用者や各スポーツ連盟からの意見を反映できるよう努めました。修繕では、ひばりが丘球場の雨漏りやクビアカツヤカミキリムシによる桜の木の被害の対応を行いました。5月から蜂の巣の対応や公園でのねこのえさやり対策等を1年通して行いました。物販では特に食品の数を揃え、主に夏はアイス・冬にカップラーメンと四季に合わせたものを積極的にそろえました。そして今年度も引き続き、B&amp;G財団からの評価も5年連続で「特A」を維持することが出来ました。評価につながる「さってBG塾」やカヌー教室等幸手市の協力を頂きながらとても良い事業が出来たと感じております。その他、昨年と同様に休館日を利用し、消防訓練やPR研修、業務研修を全スタッフで行い、運営水準向上に努めました。</p>
	施設所管課の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して、適切な管理運営を実施できました。</li> <li>B&amp;G財団が開催する事業やイベントに多数参加し、『特A』評価(5年連続)を取得できたことは評価できます。</li> <li>突風による倒木対応、多数の蜂の巣の駆除対応など、自然による災害が多い年でしたが、迅速に対応していただきました。</li> </ul>

総合評価	区分	A
	特記事項	

《評価区分》

評価点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
	2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
	1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
総合評価	S	極めて良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上であり、かつ4が2つ以上である)
	A	良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上である)(上記以外)
	B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。(評価点数に2が含まれている)
	C	改善を要する管理運営状況である。(評価点数に1が含まれている)

様式3

指定管理業務 事業評価書(市及び指定管理者作成)

令和5年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市平須賀南公園外4公園
施設所管課	建設経済部 都市計画課(内線562・563)
指定管理者名	パークマネジメント3 代表団体 株式会社日本ウォーターテックス
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年目)

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	3	3
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	3	3
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	4	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	4	4
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定業務	基準に基づく指定業務が適切に行われたか	3	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	3	3
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2	3	3
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	4	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
(2)経理	経理処理が適切に行われたか	3	3	
(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3	

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
II サービスの 質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	3	3
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか	4	4
		備品などの設備の維持管理は適正であるか		
	3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか	3	3
		利用許可など利用者への接客対応は適切であるか		
	4 指定事業・自主事業			
(1)指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3	
(2)自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3	

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ の 安 定 性 の ス	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		I・II・Ⅲの評価点数の合計(得点/満点)	79 / 100	77 / 100

総括	指定管理者の自己評価	<p>◎全体的な指定管理業務は計画どおり実施できた。収入については減少したが、人件費・光熱費等の抑制が出来たことで、収支としては利益を出すことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支出について、人件費は業務の効率化・光熱費は全公園のLED化をできたことが要因で抑制することができた。</li> <li>・受付～巡回清掃及び維持管理全般は計画どおり進め、仕様書以上の回数を実施した。</li> <li>・各警報時の災害点検及び7月の暴風雨被害は危機管理体制に基づき、迅速な対応ができ、翌日には復旧させた。</li> <li>・昨年度指定管理者の支出により、インクルーシブ遊具を平須賀南公園に設置したことで、アンケート等での褒め、当該公園の利用促進に貢献できた。</li> </ul>
	施設所管課の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して、適切な管理運営を実施できました。</li> <li>・昨年度に続き、各公園の巡回点検、樹木剪定、及び除草業務等は、仕様書に示した回数以上をこなし、維持管理業務に努めたことは評価できます。</li> </ul> <p>また、利用者アンケートでも「ゴミがなく綺麗。芝が綺麗に整備されている。」など、複数の声が見受けられることから、日常の維持管理業務の成果が出ていると判断できます。</p>

総合評価	区分	S
	特記事項	

《評価区分》

評価点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
	2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
	1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
総合評価	S	極めて良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上であり、かつ4が2つ以上である)
	A	良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上である)(上記以外)
	B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。(評価点数に2が含まれている)
	C	改善を要する管理運営状況である。(評価点数に1が含まれている)